

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県藤沢警察署協議会
日 時	令和6年1月18日（木）午後2時10分から午後4時10分までの間
場 所	神奈川県藤沢警察署
出席者	<p>1 協議会側 飯田 高史 市川 洋 前原 篤 糟谷元二郎 橋本美知子 臼井 得雄 村木 光喜 吉田 勝好 計8人</p> <p>2 警察署側 署 長 阿部 勇 副署長 山口 浩二 地域担当次長 河野 隆史 刑事生活安全担当次長 市川 哲也 会計担当次長 内海 洋将 警務課長 苅部信行 留置管理課長 中山武志 生活安全課長 橋本崇 刑事第一課長 飯山哲男 刑事第二課長 伊藤香織 交通課長 小野元貴 警備課長 田中英之 計12人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>1 諮問 若者に蔓延する薬物事案について</p> <p>2 答申 (1) 犯罪を抑止する側にも勉強の場を設ける。 (2) 中学・高校への出張授業の徹底 (3) インパクトのある画像やポスター等を活用し、啓蒙・啓発を行う。 (4) 家庭、学校、地域、警察、医療が総合的に連携し愛情がある対応をする。 (5) グループ内で止めるよう説得し、それでも止められなければ警察への通報が出来るようにする。 (6) 大麻事犯の厳罰化 (7) ネット販売の広告規制</p> <p>3 措置結果 (1) 抑止する側に勉強の場を設ける 協議会委員に対し、大麻等の薬理作用及び臭いなどについて説明した。 (2) 薬物乱用教室の開催 管内の県立高校において、薬物乱用防止教室を開催した。 (3) ポスター等を活用し、啓蒙・啓発をおこなった 管内の中学や高校、若者が目にしやすい主要駅や江ノ島観光協会、新江ノ島水族館等への啓発ポスターの掲示依頼や横浜ベイスターズ選手が呼びかけるチラシを配布した。 (4) 総合的な連携と愛情がある対応 既存組織で警察もその一員として活動を行う藤沢地区薬物防止推進連絡会として様々な活動や情報交換を行った。 (5) 学校や地元等のグループ内での抑止と警察への通報体制 ア 各種広報により相談窓口を周知した。 イ ポスターで相談窓口である＃9110を周知した。</p>

	<p>ウ 薬物乱用防止教室で相談窓口の周知を行った。</p> <p>(6) 大麻事犯の厳罰化 昨年12月6日の参議院本会議で可決され、本年中に施行予定である。</p> <p>(7) ネット販売の広告規制 サイバーパトロール、110番通報及び被疑者の取調べ等、あらゆる警察活動を通じて情報を入手し、検挙まで至らない場合は削除依頼を行っている。引き続き、県や市等と連携し若者の薬物乱用防止に取り組む。</p>
	諮問
	警護警備について
	答申
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民と連携して、演説会場を含めて、おかしい、不審だという人がいたら通報できる環境を作る。 ○ 会場にカメラや大きなモニター等を設置し、警察の警戒力を示したらどうか。 ○ 演説会等が始まる前にDJポリスなどを活用し、決められた注意事項を聴衆を含めた方々に、何度かアナウンスしてはどうか。 ○ 主催者側に警察の意向について、事前に周知する。 ○ 主催者側の協力を得て不審者の早期発見に努める。
	業務説明
	前四半期（令和5年10月から12月分）の業務推進結果及び次四半期（令和6年1月から3月まで）の業務推進重点について事前に協議会委員へ資料を配布して説明をした。
備 考	視 察
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県警本部の担当職員を招致し、警衛警護訓練に関する展示の視察を行った。 ○ 県警逮捕術大会に向けた当署員の逮捕術訓練の視察を行った。
	視察後の警察署協議会からの意見
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初めて見る訓練であり、迫力があり頼もしく感じた。 ○ 担当職員の装備品を直に見て驚いた。